

## 令和5年度

## 事業報告書

特定非営利活動法人 Collable

## 1 事業の成果

令和5年度は、インクルーシブデザインに関する活動をさらに広げることができた。企業とのとりくみだけでなく、インクルーシブデザインの体験会の開催や、認定リードユーザー制度の1期生の輩出ができ、インクルーシブデザインに関する認知拡大ができた。インクルーシブデザインに関するプロジェクトもミュージアムの改修に限らず、商品開発の分野や、図書館、そしてミュージアムの中でも学習機会としての導入などの動きもあり、その取組自体の広がりを感じられる1年となった。

障害学生支援に関するプロジェクトは、今年度は情報発信の取り組みに重きを置き、学生たちのキャリアに関する課題を分析し、当事者も大学関係者も採用担当者も参考にしていただける記事を10記事発信することができた。大学関係者への講演の機会もあったことで社会課題認知の拡大の機会をつくることができた。

今期は対面でのインクルーシブデザインやワークショップに限らず、オンライン上の課題にもフォーカスし、視覚障害や発達障害の当事者を巻き込み、Webアクセシビリティ向上のためのリサーチも実施した。

一方で、まだまだインクルーシブな機会づくりの重要性を社会で認知されていくには課題も感じる1年であった。さまざまな社会課題のなかでも、Inclusivityに関することはあらゆる社会課題の中で重要視されづらい状況にある。年度末にかけてその認知拡大の手応えを得ているので、引き続き取り組みの重要性について発信していきたい。

## 2 事業の実施に関する事項

## (1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 6,342 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
ワークショップ企画運営	複数の企業・団体と共同でインクルーシブデザインワークショップを実施した。メーカーや図書館、ミュージアム、防災スタートアップなど、さまざまな領域とのコラボレーションを実施した。そのほかにも認定リードユーザー輩出、それに伴うインクルーシブデザイン体験会などを開催することができた。	4月1日 ～ 3月31日	東京都	6人	日本国内の企業および団体担当者、一般参加者、視覚障害・聴覚障害・車いすユーザーなどの協力障害当事者	約200名	5,227
研究開発	インクルーシブデザインに関する研究は継続的に実施している。その他障害のある若者へのキャリアインタビューも進めながら、当事者のキャリア形成についても分析をすると同時に、発信も行った。Webアクセシビリティに関するリサーチ活動に取り組みも調査を進めた。	4月1日 ～ 3月31日	東京都	2人	日本国内の障害学生および若者、DE&Iに関心のある個人・団体	約2000名	818

啓発活動	障害のある大学生に向けた、キャリアイメージ形成のためのコンテンツ制作及び発信を実施した。その他外部での講演会等で障害学生のキャリア学習や社会移行について発信をおこなった。	4月1日 ～ 3月31日	東京都	3人	日本国内の障害学生および若者、DE&Iに関心のある企業担当者	約 2000名	297
------	---	--------------------	-----	----	--------------------------------	---------	-----

(2) その他の事業

(事業費の総費用【           】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)